オプション検査のご案内

✦トモシンセシス(乳房X線) 最新の撮影技術！

こんな方にオススメ！ 高濃度乳腺の方、より精密な乳房X線検査を受けたい方

従来の乳房X線は、乳房を平面的(2D)に画像化していましたが、トモシンセシスでは複数のデータを立体的(3D)に再構成します。そのため乳房を1mm毎のスライスで見ることができ、組織の重なり(障害陰影)を無くすことができるので、より小さな乳がんの発見が可能となります。また、正常な乳腺が重なって見えて病変が隠れてしまうことや、正常な乳腺が病変のように見えるといったことが改善できます。撮影は、従来の撮影後、乳房を挟んだ状態のまま、角度を変えて多方向から撮影を行います(機械が動きます)。乳房を挟む時間は少し長くなりますが、この間の息止めは不要です。

✦甲状腺検診

こんな方にオススメ！初めて・甲状腺の病気を指摘された(病院での経過観察や治療は不要)、または以下のような症状がある方
首の前の腫れ、体重の急激な増減(原因不明)、激しい動悸、年中汗が出る
身体がだるい、食欲不振、眠い等

甲状腺とは？

身体の新陳代謝を盛んにするホルモンをつくる臓器。
甲状腺ホルモンは、脳や心臓、胃腸などの全身の活動エネルギーを活性化します。

甲状腺の病気

大きく分けて2つあり、一つは腫瘍。腺腫やのう胞といった良性のものと、乳頭がんなどの悪性のものがあります。もう一つは甲状腺のホルモンの分泌異常です。ホルモンが増加するものと減少するものがあります。中には腫瘍とホルモン異常の両方が生じている場合もあります。

甲状腺超音波検査 ： 腫瘍(がんや良性のしこり)がないか調べます。
ホルモン異常ははっきりとは分かりません。

甲状腺機能検査 ： 血液検査(採血)で甲状腺のホルモン量から働きを調べます。

✦動脈硬化検診

こんな方にオススメ！初めて・喫煙している・肥満・高血圧・糖尿病・脂質異常・運動不足・近親者に脳卒中や心臓病の方がいる

動脈硬化とは？

動脈は、新鮮な血液を体内に運ぶ血管です。中高年になるにつれ弾力性は低下し硬くなります。血管壁の中にコレステロールなどの脂質がたまり、プラークというこぶのようなものができて血管内の通りが狭くなります。心筋梗塞や脳梗塞などのリスクが高まります！

頚動脈超音波検査 ：超音波で血管の壁の厚さやプラークによって血管の狭まり・詰まりがないか調べます。

血圧脈波検査 ：ベッドに寝て、胸に心音マイク・両手足に血圧計をつけて、下記を測定します。

ABI：両手足の血圧比から足の動脈の詰まり具合をみます。

CAVI：心音マイクをつけて脈波の伝達速度を測定することで、測定時の血圧に影響されずに、心臓から足首までの動脈の硬さを調べます。

＊血圧脈波検査は、透析シャントや腕にCVポートがある、動脈瘤や深部静脈血栓症がある、乳がんでリンパ切除をした方は検査ができません。重度の不整脈や心雑音・喘息のある方は心音が正確に聴取できず、検査ができないことがあります。また、四肢に麻痺がある方で循環障害がある場合、結果が正確に得られない可能性があります。

✦ピロリ菌抗体

こんな方にオススメ！
今までにピロリ菌の検査を受けたことがない方、胃腸の調子が気になる方

ピロリ菌は萎縮性胃炎や胃がん等の一因です。この検査はピロリ菌に感染するとできる抗体の有無を調べる検査です。ピロリ菌除菌後も抗体は一定期間残存する為、この検査では**ピロリ菌除菌後の効果判定は出来ません。**

✦MCI(軽度認知障害)スクリーニング

こんな方にオススメ！ 40歳以上の方、最近物忘れが増えてきたなと感じる方、認知症が心配な方

認知症の前段階であるMCI(軽度認知障害)のリスクを調べる検査です。MCIとは、日常生活に支障はありませんが、MCIの状態のまま過ごすと約5年でその半数近くの方が認知症に進行するといわれています。リスクの大きい生活習慣を明らかにし、認知症の予防に繋げましょう。 ※既に認知症と診断された方は検査の対象外です。 血液検査で調べます。

✦アレルギー

こんな方にオススメ！初めて・次の場面(食事・季節毎・室内・動物や昆虫に触れる(刺される)など)で以下の症状がでることがある
目のかゆみ・充血・くしゃみ・鼻水・咳・息苦しい・皮膚の発赤・荒れやすいなど

アレルギーとは？

細菌やウイルスなど異物から身を守るための「免疫」という仕組みが異常を起こし、アレルギーの原因物質(食物、花粉、ダニなど)が体の中に入ると異物と認識して排除しようとして、かゆみ・発疹・咳・くしゃみなどのアレルギー症状が出てしまいます。血液検査で、特異的IgE抗体を測定し、アレルギーがあるかを調べます。

アレルギー39項目 ：ゴキブリ・ガ・ハンノキ・シラカンバ・アルテルナリア・マラセチア・ラテックス・オボムコイド・そば・米・ゴマ・キウイ
リンゴ・バナナ・鶏肉・牛肉・豚肉・マグロ・サケ・サバ・加えて下記の下線項目

樹木花粉4項目：スギ・ヒノキ・松・ブナ	イネ科花粉5項目：ハルガヤ・ギョウギシバ・アシ・カモガヤ・オオアワガエリ
動物上皮6項目：犬・猫・ハムスター・牛・豚・にわとり	昆虫5項目 ：ミツバチ・スズメバチ・アシナガバチ・ユスリカ・ヤブカ
食物7項目 ：卵白・牛乳・小麦・ピーナッツ・大豆・かに・えび	雑草花粉5項目：ブタクサ・ヨモギ・フランス菊・タンポポ・アキノキリンソウ
室内ｱﾚﾙｹﾞﾝ4項目 ：ヤケヒョウヒダニ・ハウスダスト・アスペルギルス・カンジダ	

✦腫瘍マーカー

こんな方にオススメ！がん検診(便の検査や胃部X線など)を受けたが、他の方法でもがんを調べたい。

腫瘍マーカーとは？

がん細胞には、そのがんに特徴的な物質をつくりだすものがあり、腫瘍マーカーといいます。血液検査で調べます。腫瘍マーカーが陽性となった場合、どの部位のがんか特定はできませんので、病院で詳しく検査をする必要があります。また、陽性＝必ずがんがあるとはいえません(良性の病気や生理的変動で陽性となることがあります)。また、がんがあっても陽性にならないこともあります。腫瘍マーカーはがんの治療効果の判定に用いることが多く、あくまでも他の検査の補助検査のひとつです。腫瘍マーカー単独でがんの検査を受けるのではなく、便潜血検査・X線検査・超音波検査など基本の検査を受けておくことが重要です。

男女共通	CEA ： 大腸がん、胃がん、食道がん、肺がん、胆管がん、膀胱がん、卵巣がん、肝がん、乳がん CA19－9 ： すい臓がん、胆のうがん、胆管がん、胃がん、大腸がん シフラ ： 肺がん(扁平上皮がん・腺がん)　　AFP ： 肝臓がん(肝細胞がん)
女性	CA125 ： 卵巣がん

✦ウイルス抗体

風疹(三日ばしか)とは？ 風疹は強い感染力があり、飛沫感染により、症状が出る前からヒトからヒトへと感染が広がります。成人が発症した場合、重症化や合併症を併発する危険もあります。妊娠初期の妊婦がウイルスに感染すると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害が起こる可能性が高くなります。(お住まいの市町で費用補助がある場合がありますが、JAの健診では適用されません)

麻疹(はしか)とは？ 麻疹も感染力が非常に強く、空気・飛沫・接触感染で広がります。免疫がないとほぼ確実にかかります。 高熱・発疹などが出現し、脳炎になる・死亡する割合は1000人に1人といわれています。妊婦がかかると早産・流産の危険があります。

ムンプス(おたふくかぜ)とは？ ムンプスとは流行性耳下腺炎のことで、感染力は強く、発熱や唾液腺の腫れがありますが、約3割の人は症状がみられません。小児に多い感染症です。成人男性がかかると睾丸炎、成人女性は卵巣炎になることがあります。